

発行所  
**石川県保険医協会**  
 金沢市尾張町1丁目9番11号  
 〒920 尾張町レジデンス2F  
 電話 (0762) 22-5373番  
 発行人 平松昌司  
 印刷所 ユーアイ印刷

# 石川保険医新聞

## 休業保障制度

切迫る!!

5月26日(水)

〈表1〉  
**市町村の乳幼児医療助成事業**

郡市	自治体	対象年齢			自己負担の助成内容 (県単事業への上乗せ)
		1歳未満	2歳未満	3歳未満	
江沼郡	金沢市	○	○		2歳未満児まで
	七尾市	○	○		2歳未満児まで
	小松市	○			
	輪島市	○			県単事業の1,000円
	珠洲市	○			
	加賀市	○	○		2歳未満児まで
	羽咋市	○	○		2歳未満児まで
	松任市	○	○		2歳未満児まで
能美郡	山中町	○			県単事業の1,000円
石川郡	根上町	○	○	○	県単事業の1,000円 1~2歳児の自己負担分
	寺井町	○	○		県単事業の1,000円 1歳児の自己負担分
	辰口町	○			県単事業の1,000円
	川北町	○	○	○	県単事業の1,000円 1~2歳児の自己負担分
石川郡	美川町	○	○	○	県単事業の1,000円
	鶴来町	○			
	野々市町	○	○		2歳未満児まで
	河内村	○	○	○	県単事業の1,000円 1~2歳児の自己負担分
	吉野谷村	○	○	○	県単事業の1,000円 1~2歳児の自己負担分
	鳥越村	○	○	○	県単事業の1,000円 1~2歳児の自己負担分
	尾口村	○	○	○	県単事業の1,000円 1~2歳児の自己負担分
	白峰村	○	○	○	県単事業の1,000円 1~2歳児の自己負担分
	河北郡	津幡町	○		
高松町		○			
七塚町		○			
宇ノ気町		○			
内灘町		○			県単事業の1,000円
羽咋郡	富来町	○			
	志雄町	○			
	志賀町	○			
	押水町	○			県単事業の1,000円
鹿島郡	田鶴浜町	○			県単事業の1,000円
	鳥屋町	○	○		県単事業の1,000円 1歳児の自己負担の半額
	中島町	○			県単事業の1,000円
	鹿島町	○			県単事業の1,000円
	能登島町	○			県単事業の1,000円
	鹿西町	○	○		県単事業の1,000円 1歳児の自己負担の半額
鳳至郡	穴水町	○			県単事業の1,000円
	門前町	○			
	能都町	○			県単事業の1,000円
	柳田村	○			県単事業の1,000円
	内浦町	○			

1993年4月1日 現在

## 乳幼児の医療費助成を

### 急いでほしい県単事業の改善

石川県が行っているゼロ歳児の医療費助成事業の基準を上回って実施する市町村が最近、特に増えてきている。助成の対象年齢は、三歳未満児までが三町五村、二歳未満児までが五市四町と徐々に拡大されており、助成内容では、県下四十一市町村のうち二十三市町村が県単事業の千円足切り分を補填している。しかも、九二年度、九三年度と上乗せを図る自治体が増え、県単事業の改善の必要性を示唆している。

この背景には、「一・五」の背景には、「一・五」

三シヨック」といわれるような日本の出生率の減少に対する危機感がある。助成制度の改善で、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを、という共通の思いが広まっているからである。

確かに子どもの医療費は、母体免疫が切れる生後六カ月から健康面で比較的安全する三歳ごろまで、さらに就学前までの負担が大きいの。従って、疾病の早期発見、早期治療のためには国と自治体による公的助成制度を拡充することが重要である。

石川県保険医協会では、北信越各県の助成制度との比較(表2)や県下市町村の上乗せの実態を調査し、県単事業の改善点(①就学前の六歳未満、当面三歳未満まで対象年齢の拡大、②償還払いから現物給付へ、③窓口負担金の千円足切りの撤廃)を明らかにして、関係方面に働きかけてきた。

これまで県医師会代議員会、金沢市医師会理事会、小児科医会などで論議されており、金沢市医師会でも九三年度予算要求の際に、対象年齢の拡大と千円足切りの廃止を金沢市に要望している。

### 保険医協会の改善要求内容

1. 対象年齢の拡大 (6歳未満までに)
2. 支払方法を現物給付に
3. 窓口負担金(1000円足切り)の撤廃

〈表2〉 北信越各県の乳幼児医療費助成制度の比較

県名	対象年齢	所得制限	助成内容	助成方法
新潟県	1歳未満	なし	全額給付	現物給付
長野県	3歳未満	あり	全額給付	償還払い
富山県	1歳未満	なし	全額給付	現物給付
石川県	1歳未満	なし	1,000円足切り	償還払い
福井県	1歳未満	あり	全額給付	償還払い

### 医心凡話

隣国ロシアでは、社会体制の変革に伴う政治的・経済的混乱が続いている。改革をあくまで遂行しようというエリツィン大統領と保守的・民族主義的な代議員議会との権力をめぐる確執は頂点に達し、ついに国民投票による決着をみた。ロシア国民は大統領を支持し、議会に「ノー」の意思表示をしたが、このまま保守派が素直に引き下がるとも思えず、事態はまだ流動的である。

さて、ロシアの現状をみるにつけ、他山の石として反省してほしいのが日本の医療情勢である。

上がらない診療報酬改定、中小病院の七割が赤字、増えない公的医療費枠など、暗雲立ちこめ、まさに嵐を呼ばんとする趣がある。

ここに至った大きな責任は、厚生行政を司る厚生省・政府側に当然あるといえるが、その相手になって国民医療と開業医のために交渉すべき日本医師会にも責任は相当あるのではなからうか。

細かいことはさておいても、開業保険医の死活にかかわるような最重要案件には、ロシアの国民投票に習って全医師会員の総意を問うことも大切なのではないだろうか。

# 4月度

## 理事会点描

第四回理事会は、二年越しの懸案であった事務局へのパソコン導入が決定されたことが最大ニュースである。最新機種を導入であり、事務局員一同もはりきっており、ますます会員サービスがゆきとどくことになる。

第二は、本年度の最重要課題となっている「保険で良い入れ歯を」運動をはじめとする歯科部からの話題であった。特に「保険で良い入れ歯を」運動は、すでに全国八百四十六自治体で意見書が採択されているが、石川県ではまだ「ゼロ」という状態であり、歯科医師会とも歩調を合わせた運動が必要であることが確認された。

医療福祉部では、待ちに待った「福祉マップ改訂第三版」と「病院マップ改訂第八版」の編集会議の報告があった。福祉マップは福祉制度の激変している時期であるので、コンパクトなもので、より利用しやすい内容のものになりそう。

機関紙・文化部からは、大平政樹先生（金沢市・外科）の部長就任について報告がありました。そのほか、廃棄物の問題、乳幼児医療無料化、今年度の保団連医療研究集会への応募などについて討議された。

### 事務局にパソコンが

第4回理事会  
4月20日・13人出席

ようやく

病院、有床診療所の経営問題等に関する講演会の開催計画が提出され、六月十九日に行うことが

（西田記）

## 持論

近年の一般ゴミ並びに産業ゴミの急増が、自然環境の保全からも重大問題となり、国は一九九一年十月、廃棄物処理法を二十年ぶりに大改正した。

「持論」は、近年の一般ゴミ並びに産業ゴミの急増が、自然環境の保全からも重大問題となり、国は一九九一年十月、廃棄物処理法を二十年ぶりに大改正した。

さらに現実的な問題は、地方自治体の対応である。法改正以前に厚生省から出た「医療廃棄物ガイドライン」についての誤解などから、地域によって収集を取りやめるなどトラブルが発生している。

また、処理費用負担の問題は重大である。一般廃棄物については公費負担が当然であるが、産業廃棄物については今後、問題提起していきたい。

## 医療機関にとって 医療廃棄物処理法 問題点が多い

同法施行に伴い、特別管理廃棄物に指定された「感染性廃棄物」の取り扱いでは、一九九二年八月厚生省通知の「感染性廃棄物の処理」が先行した感がある。

不足、関係者の教育、助成制度、処理業者の育成など、国がなすべき施策の不備をそのままに、法のみを先行した感がある。

生じた。医療の公共性、感染性廃棄物の発生源から考えても、処理能力のある市町村は従来どおり扱うべきであるし、処理能力のない市町村は努力すべきである。

別、梱包あるいは院内での非感染性処理をしているか、適切に保管・表示して自治体業務に協力しているか、正式の許可業者にマニフェストの交付と適正価格で委託しているか、基準通りの管理体制をとっているかなどを各自がチェックしていきたい。

## 保団連機関紙部会の報告

### 「先生」か「氏」か？

保団連機関紙部員 高松 弘明

フーン現象に見舞われた強風の東京は保団連会議室で、四月二十五日、機関紙部会が開かれた。石川協会からは、私と杉野事務局員が出席。午前中は、毎日新聞社会部・北村肇氏の講演があった。とくに興味があったのは、皇室に対する報道機関の敬語の使い方であった。たしかに、戦前、戦中、戦後と敬語にずいぶん変化がみられ、最近はその利にならないよう神経をとがらしているとのことであった。これから、新聞紙上を気をつけて見るのも面白いだろう。また、保険医新聞で、医師がお互い先生と呼び合うのは少しおかしいのではないかと話が出た。そういえば、先日、石川協会の新聞に、北陸中日新聞の論説委員から読後感が寄せられ、やはり、医師名に「先生」を付け、一般の人

には「氏」を付けるのは一般常識と少しずれがあるのではないかと指摘された。杉野君が発言した。この点について、当協会でも一度検討の必要がありそうだ。世間と我々とで感覚の違いがあるらしい。

金丸事件などの報道で、政府、自民党からの圧力がないかとの質問には、今のところ、目立った圧力はありませぬが……との返答であった。

オフレコの話は、道義上カットすることにしよう。

午後は一時から三時半まで、全員やかましいほど全国紙について発言が相次ぎ、相変わらずお疲れさまである。

次回の部会は、十一月六日に金沢での開催を要請され、お開きとなった。

## 講演会のご案内

### 医療供給体制の再編と 中小病院の生きる道

5年、10年先をみて、当面どのような準備が必要か

《講師》 愛知県保険医協会理事・地域病床委員会委員長  
**池山 淳 先生**

《日時》 6月19日(土) 午後6時半～午後9時

《場所》 金沢都ホテル 5階「能登の間」  
(金沢駅正面 ☎0762 (61) 2121番)

《参加対象》 今回は、医師および事務長に限らせていただきます。

《参加費》 \*会員医療機関は無料  
\*非会員の医療機関は一人1,000円

《申し込み》 保険医協会までお電話でお申し込みください。  
☎0762 (22) 5373番

### 囲碁解答

黒1と頭に付け以下攻め勝ちとなります。

# 保団連研究会

## 学術研究会をテーマに論議

保団連研究部員 西村邦雄

四月二十五日、保団連研究会が東京で開かれた。まず学術研究会をめぐり情勢と課題について討議され、各県の保険医協会主催の研究会と日医生涯教育制度との関係が各県でかなり異なっていることが確認された。また、生涯教育の申告率が年々低下していることもあり、日医は学会認定医制と関連付ける方向で申告率アップを図りつつあるという。学会認定医制そのものの可否の問題もあり、対応は各県の保険医協会に任されることになった。研究部としては、評判の良かった研究会のテーマや講師を全国的に集計することになった。印刷物として「審査改善の手引改訂第5版」「エイズに関するパンフレット」を保団連として作成することが正式に決められた。最近特に話題になって

いるM.R.S.Aやエイズ、B型・C型肝炎に対する院内感染予防に保団連として、どう取り組んでいくかも討議された。この分野で積極的に活動している大分協会の院内感染予防対策(案)を検討し、実際にかかる費用を把握した上で、どういう形で印刷物を発行するかを常任幹事会で審議することになった。

十月三十日、三十一日に東京で開催される第八回保団連医療研究集会の概要が紹介され、各協会から積極的に参加されるよう要請が

あった。また、八月二十八日、二十九日に全国審査担当者会議と全国研究担当者会議を開催することも決められた。

「第一線医療・医学創造のためのプロジェクト会議」は、これまで月刊保団連で掲載されたものを冊子化することになり、メンバーを再編し直して、再スタートさせるべきではないかという意見が大半を占めた。また、インフォームド・コンセントについても、保団連研究部としてどう取り組んでいくかを引き続き検討することになった。

### 保団連歯科協議会第24回全国会議

## 良い入れ歯運動が前進

杉本康樹 (小松市・歯科)

四月十八日、東京都千代田区の日本教育会館にて全国会議が開催されました。昨年度は、「保険で良い入れ歯を」運動を全国レベルで展開し、本年三月末現在で「保険で良い入れ歯を」の実現を求める意見書を採択した議会が八百五十自治体を超えたとの報告がありました。これは全国の自治体の二割五分のことです。また、都道府県段階で意見書採択した議会在、これまでに、北海道、京都、大阪、奈良、山口、静岡の六道府県となりました。

本年度は、①入れ歯運動をより一層前進させることと②診療報酬改善運動の二点を中心に、運動を展開していくことになりました。入れ歯運動については、地域の対象となる高齢者団

体、婦人団体、歯科技士会等との連携による幅広い支持層の拡大が望まれます。また、診療報酬改善については、医科との初診・再診料の格差が問題にされていますが、肝心の歯科医師サイドの反応がもう一つ盛り上がりません。当日、注目を引いたテーマの一つ挙げますと、山口県保

険医協会は歯科治療費助成を六歳未満児にまで広げる運動をして、義務教育就学前までの歯科治療費が無料になったとのことです。今後、会員一人ひとりが、日ごろの歯科治療を通じて地域の患者さんを中心とした種々の運動を展開していくことが大事ではないでしょうか。

「第一線医療・医学創造のためのプロジェクト会議」は、これまで月刊保団連で掲載されたものを冊子化することになり、メンバーを再編し直して、再スタートさせるべきではないかという意見が大半を占めた。また、インフォームド・コンセントについても、保団連研究部としてどう取り組んでいくかを引き続き検討することになった。

### ビデオ 保険で良い入れ歯を

規格 VHS

時間 三〇分

価格 三、〇〇〇円

●お申し込み●  
協会までお電話で  
☎ 0762 (22) 5373

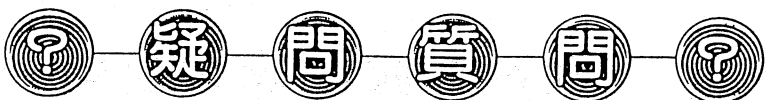
### 有料老人ホーム「シニアユートピア金沢」

## 高齢者福祉施設見学会のお知らせ

- 日時 7月18日(日) 午前10時～午後0時半
- 見学先 シニアユートピア金沢  
(金沢市栗崎町4丁目80番2号 ☎38-8000番)
- 集合場所 シニアユートピア金沢 1階ロビー
- 参加人数 保険医協会会員および家族・従業員(15人程度)
- 申込み 下記まで電話でご連絡下さい。当日は昼食代として800円ご持参ください。
- 主催 石川県保険医協会  
☎ 0762 (22) 5373

## 食べ歩き会のご案内

- とき 6月22日(火) 午後7時～9時
- ところ ラ・ネネグース(新神田4-1-31)
- 参加費 お一人 1万円
- 申込み お電話で協会まで  
☎ 0762 (22) 5373



## 歯周や保存点数の引き上げが先では？

Q、義歯点数を二倍にするよりも歯周や保存関係の点数を引き上げて義歯にならないようにすることのほうが良いのではないのでしょうか。  
A、確かに歯周や保存関係の点数、特に技術料は低く、早急な改善が望まれます。保団連歯科協議会と協会では、初・再診料の医科並み引き上げやI型への一本化の要求なども掲げています。  
しかし、表を見て分かる通り、補綴の点数は、他の点数の引き上げ幅に比べて極端に低くなっています。これは、過去、差額を取っていた部分の点数引き上げが放置されたからにほかなりません。今回の二倍以上の引き上げで、他の点数の引き上げ幅に追いつくと言えらる程度なのです。  
まず、最も不合理となっている義歯点数を二倍以上にして、さらに二倍まで引き上げを要求

### 歯科点数の推移

	昭和33年	昭和36年	昭和46年	昭和61年	平成3年	
抜髄	8	9	20	120	120	15.0倍
			25	200	200	25.0倍
			30	300	300	37.5倍
根充	9	10	16	65+110	67+110	19.7倍
	10	11	18	85+130	87+130	21.7倍
	11	12	20	105+150	108+150	23.5倍
金属大冠	100	110	243	646	636	6.4倍
	90	100	203	580	573	6.7倍
総義歯	230	270	365+41	1251+134	1580+156	7.6倍
				2449+168	3218+173	14.7倍
乳歯前歯	10	11	31	120	120	12.0倍
	14	16	31	140	140	10.0倍
	21	24	45	240	240	11.4倍
	70	80	150	460	460	6.6倍

(日本歯科評論 596号より)

し、他の不合理的点数も是正させていきたいと思います。  
限の要求だとご理解下さい。  
今回の要求は、緊急かつ最低

# '93秋のレクリエーションのご案内

## 高山、飛騨大鍾乳洞と下呂温泉



(宿泊：下呂温泉「湯之島館(新館)」・楽しい宴会付)

- 1日目：下呂温泉「湯の島館(新館)」で豪華宴会
- 2日目：飛騨大鍾乳洞を見学後、高山市内を自由散策

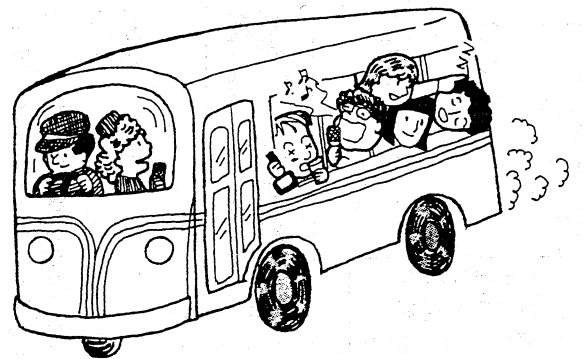
《集合》 9月25日(土) 午後0時40分 金沢駅「西口広場」に集合 (昼食弁当付き)

《解散》 26日(日) 午後6時ごろ 金沢駅解散

《参加費》 大人 (中学生以上) 40,000円  
 子供 (小学生以下) 30,000円

※幼児の参加費はご相談ください。

《定員》 45人 (定員に達し次第、締め切らせていただきます)



お申し込み・お問い合わせは保険医協会までお電話で

(9月17日以降にキャンセルされた場合は、キャンセル料が必要です)

旅行取扱 北陸航空サービス株式会社  
 旅行企画 石川県保険医協会  
 ☎0762 (22) 5373

### さらに問題事例が……

— 協会に寄せられた黄色いハガキから —

#### 【問題事例 66】

《事例》

保険者名：社保

4月15日号本紙掲載の黄色いハガキ【問題事例63】でのバンソリオンについてですが、当院でも本年2月分レセプトで、バンソリオン3錠使用例全例を2錠に削られました。(レセプトの返戻なし)

バンソリオンの用量は1日2錠・分2、なお、年齢・症状に応じて適宜増減するが、重症または効果不十分の場合は1回2錠×1日2回(1日400mg)までとなっています。小生の場合、バンソリオン3錠使用割合は2割程度の重症例です。

《主治医の意見》

小生思いますに、バンソリオン3錠全例を2錠とした(レセプトの返戻もなく一方的に)のは事務レベルで行われたと考えられ医師の裁量を無視している。1日2回投与で1日3錠(朝1錠、夕2錠ま

たは朝・夕1錠半)でも良いのではないかと。減量で1日1錠投与の場合は、やはり減点されるのか?

《協会のコメント》

石川県の審査では原則として「返戻なしの減点はしない」ことになっています。しかしこの原則が「なし崩し」されつつあり、協会としても危機感をつのらせています。本例については再審査請求されることをお勧めします。初診時からバンソリオンを3錠以上使用する場合は、対抗手段として症状をレセプトに付記されるのも一法ではないでしょうか。

**不当な減点には  
必ず再審査請求を!!**

5月1日から  
高額療養費が変わりました。

[現行]	[改定]
自己負担限度額 60,000円→	63,000円
低所得者限度額 33,600円→	35,400円

### 会員訃報

那谷賢治先生 (加賀市・内科)

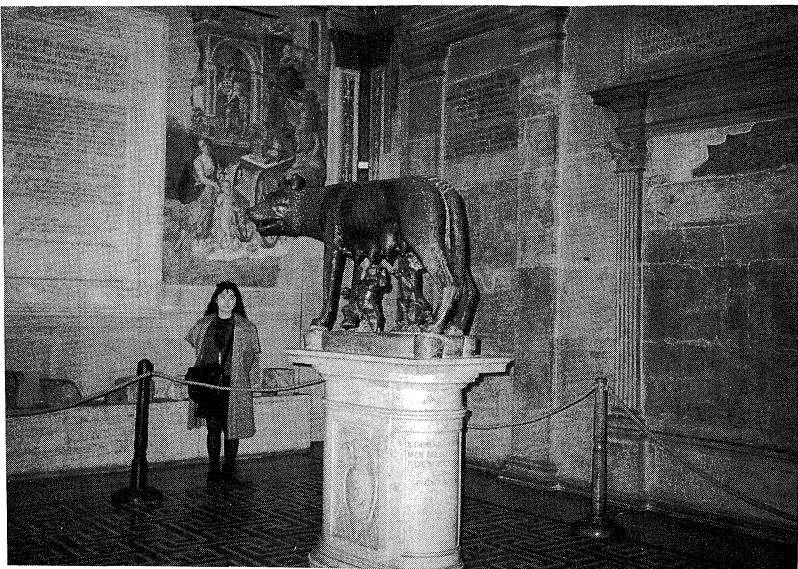
享年 六十八歳 三月二十一日ご逝去

竹浪信郎先生 (加賀市・内科)

享年 七十四歳 四月十一日ご逝去

慎んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。





ローマのカンピドリーノ美術館にて

投稿

# 私が見たイタリア

〔後編〕

畷 絵 里

私のイタリア旅行は、身も心もおなかも本当に満腹になった。私がいかにイタリアを満喫したのかを少しお話ししたいと思う。

前菜として、調子のいいイタリア人を登場させよう。私が方言のイタリア語で道を聞くと喜んで教えてくれたのだが、でたらめな方向だった。彼は決して悪気があったわけではない。声をかけてもらったのに、知らないとは言えなかったのだから。短気な日本人なら怒るかもしれないが、イタリア人にとっては愛敬で済まされる。そんなイタリア人の衣食住を大事にした生活様式を見ると、時間に追われている日本人がかわいそうに思える。

一番目の皿として現われるのがイタリア料理の定番とも言えるパスタである。

パスタは色も形も様々だが、調理法も各都市で異なっており、誰しも自分の土地のパスタが一番だと主張する。私は九つの都市を回ったのだが、各地方がそれぞれの顔を持っていることに気が付いた。

二番目の皿は、いわゆるメインの肉か魚である。イタリアのメインを知ると、おなかが一杯になり気持ちも豊かになる。驚くほど天井が高い大理石張りの豪華絢爛な建物や、外見は質素だが中はすばらしいステンドグラスで彩られた教会などは訪れる人を魅了する。外には古代遺跡が転がっており、有名な絵画や彫刻が手の届く距離で見ることができ。

甘味を押しえたドルチェ(ケーキ)が、私の旅の興奮に拍車をかけた。私は歴史上の人物になって色々な時代の交ざり合った宝石箱の蓋を開けたに違いない。ワインを飲みながら、イタリアを勉強して文化にじかに触れる機会をもらったことに感謝した。

本物の絵に出会い、歴史と文化が溶け合っているのを確かめ、おいしい料理と最高のワインを飲むほど幸せなことはない。また、いつか、この満足感が味わえたらと思いつつ、最後にイタリアのカプチーノを飲んで、この旅を締めくくるところにした。

筆者は畷稀吉先生(金沢市・形成外科)のお嬢様です。

## 「国民医療を守る共同行動」学習会

### 高松副会長、神田事務局長が診療報酬の問題点などを報告



乳幼児医療と入れ歯運動について報告する神田事務局長

診療報酬のしくみと問題点について報告する高松副会長

四月二十八日午後七時から石川勤医協会館で、「国民医療を守る共同行動」石川県実行委員会の主催で学習会が開かれました。

会場には約六十人の医療関係者や市民が集まり、診療報酬や看護婦不足問題、国保改悪の問題点、老人保健福祉計画など、医療にかかわる幅広い範囲にわたっての諸問題について理解を深め合いました。

保険医協会からはゲストとして高松副会長が「診療報酬の仕組みと問題点」について、神田事務局長が「乳幼児医療無料化運動」及び「保

険で良い入れ歯を運動」について報告しました。

現在、国民医療を守る共同行動が呼び掛けて「公的保険の充実でよい医療と看護」をスローガンに、全国で一千万人署名運動が取り組まれています。共同行動石川県実行委員会は十万人の署名目標を掲げ、県内全域で県民の医療と福祉を改善する自治体要求の実現と合わせて運動することになっており、今回の学習会もそのために開かれたものです。

(事務局 杉野)

# 休業保障制度

## 切迫る!! (切: 5月26日)

7つの特色

- 入院はもちろん、自宅療養、代診をおいても給付
- 給付日数は450日+180日
- 給付の種類が豊富…傷病・入院・満期など7種類
- 75歳までの長期保障
- 掛けすてではありません(3年以上)
- 他制度に関係なく給付
- 傷病給付金は非課税

### 給付例表 (30日休業時)

加人口数	入院	自宅	1ヶ月掛金(例40歳)
8 □	1,680,000	1,440,000	24,000円
5 □	1,050,000	900,000	15,000円
3 □	630,000	540,000	9,000円
1 □	210,000	180,000	3,000円

# グループ保険

募集期間 5月24日～6月25日

本年度配当予想 40.2%

共済制度についてのお問い合わせは協会まで

☎ 0762 (22) 5373

# 栗野利雄先生の 記念碑めぐり (39)

## 横山巴人歌碑 (七尾市・御祓川公園内)



横山巴人の歌碑と栗野先生

「今は昔 幾春秋の  
大柳」と刻まれた横山巴  
人の句碑は、七尾市府中  
町にある御祓川（みそぎ  
がわ）小公園に建つ。  
巴人は一八八六年（明  
治十九年）七尾市一本杉  
に生まれた。家業は寛政  
年間からの医家であり、  
代々漢学塾保同堂を開い  
ていた。巴人も医者を目指  
して上京したが、文化的  
環境に人と成った彼は、  
文学や書、絵画の世界に  
次第に引かれていった。  
一九四五年（昭和二十  
年）六月、戦火を逃れて  
東京から七尾に引き揚げ  
たが、敗色は七尾にも例  
外ではなかった。故郷美  
しい御祓川のほとりにも

バラックやヤミ市が並び、  
川辺の柳の古木だけが昔  
の故郷の色を映していた。  
巴人の心を捉えたこの大  
柳は、今は面影はなく、  
句碑の台石に陶板の姿で  
埋め込まれているのみで  
ある。  
巴人は七尾市立図書館  
ニュース七号に「七尾の  
作家」として、郷土で忘  
れられていた藤沢清造を  
紹介した。この清造は、  
室生犀星、徳田秋声、加  
能作次郎と同時代に、文  
学を志して上京した巴人  
の文学仲間の人である。  
明治、大正期の文人生活  
の香りや色彩を漂わせて  
いた数少ない一人であっ  
た。劇評、戯曲、短編小

説を書いたが、結局は、  
「根津権現裏」という一  
冊を出しただけで、一九  
三二年東京芝公園で凍死  
体となって発見され、行  
き倒れとして処理された。  
その悲惨さが同郷人であ  
り、時には彼に甘えられ  
た巴人にとっては、耐え  
がたい悲しみであった。  
清造は、古武士のような  
人物であったとか、どう  
しようもない奴で影弁慶  
だとか、色浅黒く美男子  
で俳優の佐分利信みたい  
とか評判もまちまちであ  
った。墓標は七尾の西光  
寺にあり葬儀の喪主は室  
生犀星であった。  
余談が長くなったが、  
当の巴人は東京で活躍し、  
晩年は故郷に帰り作家と  
して随筆に親しみ書画を  
楽しむ風流人として余生  
を送った。一九六九年、  
八十三歳の生涯を閉じた。

### 会員創作コーナー

ノン・フィクション  
シヨート・シヨート

## 猫

〇・ひろし

その大阪の家には、私の生まれる前から一匹の猫が飼われていた。「タマ」という名前の、全身に虎のようなしま模様のある大きな雌猫で、年は十歳ぐらいたったろうか。普段はおとなしいが、ひねた猫独特の狡猾さがあり、障子、ふすまは自由に開けられるし鼠とりの技術はほかの猫に比べて抜群

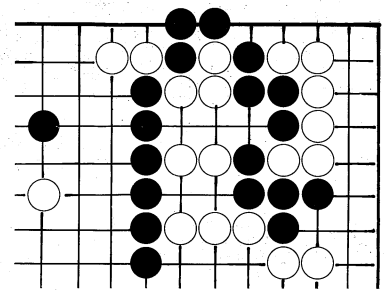
にうまかった。  
ある日、五歳の私が二階の六畳の間で四歳のいとこと遊んでいると「タマ」がやってきた。多分、子供たちのお菓子が目当てであったろう。私はこのこそ泥のしっぽをつかんで階段の上から手をはなして下へ落とした。タマはいつもは器用に着地するのに、そのときは二、三度バウンドして一番下の床板へドスンと腰から落ちた。ところが、その大きな腹は妊娠末期のせいらしく（姉に数年後に聞いたのでは）、まもなく数匹の子猫を死産した。  
それからタマは私をいじめ始めた。大人が近くにいないと私に飛び付く。決して噛んだり引っ掻いたりはないが、それでも私の背丈ぐらいに立ち上がったって、両前足を私の胸にかけると、幼い私は怖かった。夜、布団の中で寝ていて、息苦しくて目覚めると私の真上の目の前にタマの顔があった。夢の中でも怖いことが連続して出て、まったく睡眠恐怖症となっていました。  
しかし、五歳の幼児の表現力では、たとえ猫が飛

び付いたといっても、大人はだれも信用してくれなかった。いつも食卓の下で目をつぶって静かにうずくまっているタマのほうが、私より堂々としていて家族の信頼は厚かった。  
こんな状態が一週間も続いたらどうか、どのくらい月日がたつたのか今でもわからない。そして、ついにあの日がやってきた。その日は、美容師だった母や姉は結婚式の着付けで家を空け、大人は叔母と老人の祖父がいるだけだった。私はいとこと階下で遊んでいたが、二階にあるおもちゃを取りに行こうとして階段を上った。細竹の手すりが付いていたが高すぎるので、私は手を付いて一段一段昇っていった。あと一段で昇り切ろうとして顔をあげた私の目の前にあの猫がいた。そして不意に後足で立ち、前足を挙げた。私は恐怖で思わず立ち上がった。左手が竹の手すりにわずかにかかりかけただけで、私は後ろ向けにドドドッと階段を滑り落ちた。その直後どうなったかは今でも記憶はない。その事件以来、タマの姿は家から消えた。

## 随筆に親しみ 書画を楽しむ風流人

## 囲碁

出題者  
六段 向井 富治 (金沢市・内科)



本田邦久九段の指導碁会で北山元昭六段の対局に現れました。黒番でどうなりますか。

そして、一カ月ほどして、家族で映画を見に行った帰りに、電車の駅のそばの果物屋の店先で、タマらしい黄色に黒のしまのある猫を見かけた。  
「タマ、タマ、タマ！」  
家族の皆が口々に呼び掛けたが、その猫は、ちらっと、こちらを見ただけで悠々と歩いて奥に消えて行った。

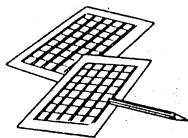
「石川保険医新聞」8月号にぜひ、ご投稿を!

石川保険医新聞「納涼特集号」

## 原稿募集のご案内

テーマ 自由 (趣味、旅行記など題材は自由)

- 募集作品
1. 写真
  2. 絵画
  3. エッセイ
  4. その他



応募締切 1993年7月10日(土) 必着

詳しくは案内チラシをご覧ください。